

高1 数学 後期

## 数学発展講座Ⅰ／Ⅱ 第2部

鉄緑会数学科

21B4-1003

105

第1回 原子とイオン

高1化学

## 化学基礎講座

編 者 鉄緑会化学科

発 行 者 鉄 緑 会

2021年1月1日

初版第1刷発行

非売品

許可なしに転載、複製、転売、譲渡することを禁じます。

## §1 こんにちは

**自然界 (2)** には、さまざまな物質が存在するが、その成分を分解してゆくと、どのような成分にたどり着くのか。この問題は、古代からさまざまな哲学者・科学者によって議論されてきた。

## §1 展示を行う場合

### 1.3 調べ物とは

展示には色々な形態があります。調べたことを模造紙に書いてパネルに貼っていく（場合によってはパネルに直接書く）、模型を作って展示する、来場者に体験をしてもらう、といったものが挙げられるでしょう。これらの複数を組み合わせても良いでしょう。しかし、いずれの方法をとるにしても、何らかの形でものを調べる・調査するということが必要になります。調査をする方法にも色々あり、図書館や本屋で文献を探す、新聞や雑誌の記事を探す、インターネットから情報を集めるといった方法のほか、専門家にアポを取って直接お話をいただくという手もあります。これらの中でどの調査方法をとるかによって、展示のクオリティーや、そのデコが得るものが大きく違ってきます。本章では、調査の中でも特に重要と思われる文献調査のコツを紹介していきます。ここに書かれたことを参考にして、各デコで実りある調査・研究をし、その成果を文化祭で多くの来場者に発表していただければと思います。ただし、本章の記述には主観も多分に含まれていますので、鵜呑みにはせず、各デコの判断で活用してください。なお、本章は、小冊子「調査のための文献探索案内」（本校国語科編、2006.09）を基に書き起こされたものです。

### 1.3 文献調査の意義

某高校の文化祭でとある展示に足を運んだ時、展示されていた文章にふと違和感を覚え、携帯電話で Wikipedia の当該ページを覗いてみました。するとどうでしょう、展示されていた文章は Wikipedia のまる写しだったのです。これは流石に極端ですが、インターネットの内容を貼り合わせてきただけのものを展示するだけでは、来場者の関心を惹きつけるどころかその目をごまかすことすらままなりませんし、デコが得るものも少ないことでしょう。また、よく言われることですが、ウェブサイトの内容は必ずしも正しくありません。インターネットの場合は誰が書いているかも分からず、従って書き手は自分の書いたものに対して無責任であると言って良いでしょう（例えば、一般の人が専門家を騙り、デタラメなことを書くことも可能なのです）。一方、文献の場合は著者が明示されており、書き手はその文献の内容に対する責任を認識しているはずです。確かに文献にも誤りはあるかもしれませんが、その数はインターネットよりも大幅に少ないは

### 1.3 調べ物とは

展示にはいろいろな形態がありますね～！

## §1

## 原子

## 1.3 物質の構成成分をめぐる歴史

全ての原子の中で最も簡単なのは水素原子であり、1個の用紙からなる原子核と1個の原子から構成されている。また、ヘリウム原子は、2個

## 【サンプル枠囲み】

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Ut purus elit, vestibulum ut, placerat ac, adipiscing vitae, felis. Curabitur dictum gravida mauris. Nam arcu libero, nonummy eget, consectetur id, vulputate a, magna. Donec vehicula augue eu neque. Pellentesque habitant morbi tristique senectus et netus et malesuada fames ac turpis egestas. Mauris ut leo. Cras viverra metus rhoncus sem. Nulla et lectus vestibulum urna fringilla ultrices. Phasellus eu tellus sit amet tortor gravida placerat. Integer sapien est, iaculis in, pretium quis, viverra ac, nunc. Praesent eget sem vel leo ultrices bibendum. Aenean faucibus. Morbi dolor nulla, malesuada eu, pulvinar at, mollis ac, nulla. Curabitur auctor semper nulla. Donec varius orci eget risus. Duis nibh mi, congue eu, accumsan eleifend, sagittis quis, diam. Duis eget orci sit amet orci dignissim rutrum.

## 【メインタイトルだよ★】〈こんにちはサブタイトル〉

なんとなくのわくわく

さてさてこんなことしてる場合じゃないんですよ先生。明日はそうふくですよ？まだ勉強してないんだけど。困ったね全く。

## 参考

えっへっへ、これが参考だよ★

## 【My title】〈subtitle〉

Nam dui ligula, fringilla a, euismod sodales, sollicitudin vel, wisi. Morbi auctor lorem non justo. Nam lacus libero, pretium at, lobortis vitae, ultricies et, tellus. Donec aliquet, tortor sed accumsan bibendum, erat ligula aliquet magna, vitae ornare odio metus a mi. Morbi ac orci et nisl hendrerit mollis. Suspendisse ut massa. Cras nec ante. Pellentesque a nulla. Cum sociis natoque penatibus et magnis dis parturient montes, nascetur ridiculus mus. Aliquam tincidunt urna. Nulla ullamcorper vestibulum turpis. Pellentesque cursus luctus mauris.

【學習目標】

化学基礎講座においては、高1の4月から高2の3月にかけての15ヶ月間で、高校化学を一通り一周します。化学基礎講座においては、高1の4月から高2の3月にかけての15ヶ月間で、高校化学を一通り一周します。化学基礎講座においては、高1の4

月から高2の3月にかけての15ヶ月間で、高校化学を一通り一周します。 化学基礎講座においては、高1の4月から高2の3月にかけての15ヶ月間で、高校化学を一通り一周します。 化学基礎講座においては、高1の4月から高2の3月にかけての15ヶ月間で、高校化学を一通り一周します。 化学基礎講座においては、高1の4月から高2の3月にかけての15ヶ月間で、高校化学を一通り一周します。